

# 子供の造形表現行為と材料・用具について

吉本 宏之\* 福田 隆真

On the Relation to Materials and Tools for Art and Craft Expression  
in Primary School

YOSHIMOTO Hiroyuki\* and FUKUDA Takamasa

(Received June 18,2003)

キーワード：図画工作、造形表現行為、工作、材料、用具

## はじめに

平成14年4月より新学習指導要領が完全実施され、学校現場の小学校図画工作科教育においては、授業時数の減少をはじめとする大きな変化とともにその内容の質的量的変容が進行している。本稿は、新学習指導要領が示している工作的内容を中心として、子供の造形表現行為と素材・用具の関係について、学習の結果習得できる技法・技術と関連させながら、マトリックス化の方法で分析してみる。図画工作科のよりよい実践のための指導資料のひとつとしたい。

## I 小学校学習指導要領「図画工作科」における工作的内容の扱いについて

平成10年12月に文部省（現文部科学省）が小学校・中学校学習指導要領を告示した。学年の目標は前回の改訂と同様に、低学年、中学年、高学年の2学年ごとにまとめて示され、学年目標の3項目の観点が整理しなおされた。目標の(1)は、子供たちが、自らつくりだす喜びを味わい、進んで造形表現活動を楽しむなど関心や意欲に関する目標である。目標の(2)は、材料などをもとに表したいことを表すために、創造表現の能力やデザインの能力、創造的な技能などを伸ばし、高める「表現」に関する目標である。目標の(3)は、作品などを関心を持って見ることで、よさや美しさなどを感じ取ったり見方を深めたりして、感覚や感性を高める「鑑賞」に関する目標である。

各学年の工作的内容につながる目標の(2)を挙げてみると、

〔第1学年及び第2学年〕

(2) 材料をもとにした造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせるようにする。

\* 山口大学大学院教育学研究科修士課程（防府市松崎小学校教諭）

〔第3学年及び第4学年〕

- (2) 材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、つくりだす能力、デザインの能力、創造的な工作の能力を伸ばすようにする。

〔第5学年及び第6学年〕

- (2) 材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて主題の表し方を構想するとともに、美しさなどを考え、創造表現の能力、デザインや創造的な工作の能力を高めるようにする。

学習指導要領記載の内容構成の考え方は、領域→項目→事項で構成されている。領域は、「A表現」「B鑑賞」であり、「A表現」には、(1)と(2)の二つの項目、「B鑑賞」には、(1)の一つの項目で構成している。各項目は、子供たちの資質や能力の育成を重視する観点から、ア造形活動で育成する資質や能力に関する事項、イ資質や能力を働かせるために必要な材料や用具、活動の対象、表現方法などに関する事項の二つで示されている。ここで図画工作科の内容の特徴を4点にまとめて述べる。

- (1) 2学年まとめて内容が示された。特に絵や立体に表すこととつくりたいものをつくることを関連づけ一体的に扱えるよう、それらの内容がまとめて示されて、題材の精選が図られた。
- (2) 平成元年版学習指導要領では中学年までであった材料をもとにした楽しい造形活動（造形遊び）が、多様で創造的な表現を促す観点から、高学年まで拡充された。
- (3) 工作的な活動を引き続き重視し、その指導に充てる授業時数の確保を明記した。つくりたいものをつくることや工作に表す内容に充てる授業時数が、絵や立体に表す内容に充てる授業時数とおおよそ等しくなるように明記された。
- (4) 鑑賞の充実で、従前は高学年で表現の指導から独立した鑑賞をすることができていたが、すべての学年で独立して指導できるようになった。

平成10年版（1998）学習指導要領の小学校図画工作科の内容構成を図1にした。

図1<sup>(1)</sup>

学年 領域	小学校					
	1・2		3・4		5・6	
表現 (項目)	材料をもとにした楽しい造形活動（造形遊び）		材料や場所をもとにした楽しい造形活動（造形遊び）		材料や場所などをもとにした楽しい造形活動（造形遊び）	
	表したいことを絵や立体に表したり、つくりたいものをつくる		表したいことを絵や立体に表したり、つくりたいものをつくる		表したいことを絵や立体に表したり、工作に表す	
鑑賞	かいたものを見ることに興味をもつ		作品を見ることに興味をもつ		造形作品を鑑賞し親しむ	
学年	1	2	3	4	5	6
年間授業時数	68 (2)	70 (2)	60 (1.7)	60 (1.7)	50 (1.4)	50 (1.4)

(カッコ内は週当たりの時数)

先に記した図画工作科の内容の特徴(1)の絵や立体に表すこととつくりたいものをつくることの内容がまとめて示されたことは、日本文教出版（以下日文と記す）の図画工作科教科書を例にすると、表現題材の主題を「学習のめあて」として3つの側面、「材料の活用」「想の拡充」「行為の展開」で提示していることや、日文図画工作教科書教師用指導書には、AとB2つの領域を5つの分野に分け、「造」：造形遊び、「絵」：絵や立体に表す、「つ」：つくりたいものをつくる、「工」：工作、「鑑」：鑑賞というような表記などに表れている。題材によっては、「絵」と「つ」を併記してどちらの分野にも関連づけて扱えるようにしたり、題材の主題を前面に出して分野をあまり意識しないようにしたりしている。子供の造形活動を考える場合、子供は「造形遊びをしている」とか、「つくりたいものをつくっている」とかいった自覚はしていない。また、「絵や立体に表す」ことを目指していたが、作品に何がしかの機能性や装飾性が出てくることがあり、子供の表現を明確に分野分けすることは困難である。また、特徴の(3)にあるように、工作的な活動の重視は、「手などを十分に働かせ、材料や用具を選択し工夫してつくるなどして、造形感覚や工作などの創造的な技能、デザインの能力を高める」<sup>(2)</sup>ことをねらっていることから、絵や立体で表す表現活動だけでは様々な材料や用具を体験することはできないと言える。

## Ⅱ 教科書に見られる工作的内容、題材について

平成14年度版日文小学校図画工作科用教科書に掲載の工作的内容題材を例に、工作的内容を中心とした子供の造形表現行為と材料・用具の関係について考えていく。「工作的」の言葉の意味は、単に分野でいう「つくりたいものをつくる」や「工作に表す」にとどまらず、「手などを十分に働かせ、材料や用具を選択し工夫してつくる」ことを意味している。日文教科書全6冊には、1・2年上下が42題材、3・4年上下が38題材、5・6年上下が35題材、計115の表現・鑑賞題材がある。その中の工作的内容を持つと考えられる題材を挙げてみる。

番号	「題材名」	分 野
第1・2学年 上		
1.	「たのしいかざり」	つくりたいものをつくる
2.	「かわったよ」	つくりたいものをつくる、造形遊び
3.	「ざいりょうとなかよし」	造形遊び
4.	「あつめたはこから」	造形遊び
5.	「つないでどこへ」	造形遊び
6.	「すきなところに」	造形遊び
7.	「わくわくすいぞくかん」	つくりたいものをつくる
8.	「わたしのあそびば」	つくりたいものをつくる
9.	「どこへいこうか」	つくりたいものをつくる
10.	「ニョキニョキ、あれれ」	つくりたいものをつくる
11.	「コロコロ、クルクル」	つくりたいものをつくる
第1・2学年 下		
12.	「わたしのしょうかい」	つくりたいものをつくる

13. 「ふわふわキュッ！」
14. 「出る出るマシーン」
15. 「プカプカランド」
16. 「おめでとうへんしん」
17. 「こんなところでならべたよ」
18. 「まどをあけると」
19. 「おしたりぬいたり」
20. 「クルピョコストロー」

造形遊び  
造形遊び  
つくりたいものをつくる  
つくりたいものをつくる  
造形遊び  
つくりたいものをつくる  
絵や立体に表す  
つくりたいものをつくる

第3・4学年 上

21. 「ざいりょうものがたり」
22. 「ひものへんしん」
23. 「光のプレゼント」
24. 「パラダイス」
25. 「ここにすわると」
26. 「いろいろなふくろから」
27. 「ぬのからうまれた」
28. 「けずってあそぶ」
29. 「切って、組み合わせると」

造形遊び、つくりたいものをつくる  
絵や立体に表す  
造形遊び  
造形遊び  
つくりたいものをつくる、造形遊び  
造形遊び  
絵や立体に表す  
つくりたいものをつくる  
つくりたいものをつくる

第3・4学年 下

30. 「ようこそここへ (近くの川で)」  
「ようこそここへ (学校で)」  
「ようこそここへ (海べで)」
31. 「光のゲイジュツだ！」
32. 「動かしてみよう」
33. 「どこでつくろうかな (落ち葉や雪、氷で)」  
「どこでつくろうかな (風でユラユラ)」
34. 「くねくねなんだ」
35. 「ひみつのすみか」
36. 「ポップアップカード」
37. 「ドリームボックス」
38. 「だんだんめいろ」
39. 「ファンタジックカー」

造形遊び  
造形遊び  
造形遊び  
造形遊び  
造形遊び、つくりたいものをつくる  
造形遊び  
造形遊び  
絵や立体に表す  
つくりたいものをつくる  
つくりたいものをつくる  
つくりたいものをつくる  
つくりたいものをつくる  
つくりたいものをつくる

第5・6学年 上

40. 「見える、どうする」
41. 「わたしのカレンダー」
42. 「あなあけタワー」
43. 「だんだんコリントゲーム」
44. 「ほのぼの」
45. 「光の中で」
46. 「ここに、マイハウス」
47. 「白の世界」

絵や立体に表す  
工作にあらわす  
絵や立体に表す  
工作にあらわす  
工作にあらわす  
造形遊び  
造形遊び  
絵や立体に表す

48. 「わたしのキャラクター」 絵や立体に表す、工作に表す
- 第5・6学年 下
49. 「エコロジー生物登場」 造形遊び
50. 「はり金グニャグニャ」 工作に表す
51. 「風を感じて（ここにのれんをつるすと）」 造形遊び  
「風を感じて（風をさがして）」 造形遊び
52. 「ねん土のひもで」 絵や立体に表す
53. 「板を生かして」 工作に表す
54. 「動くぞ、動くぞ（風でまわるウインドミル）」 工作に表す
55. 「動くぞ、動くぞ（クランクをつかって）」 工作に表す

1・2年、3・4年、5・6年と学年が上がるにつれて、題材数の減少や分野の一体化の傾向がみられる。高学年では特に指導時間が週1.4単位時間となり図工の時間のとり方も工夫せざるを得なくなっている。また、一題材の時間数も題材により2～8時間と幅があるが、工作題材はかなりの時間をかけている。しかしながら、「絵や立体に表す」と「つくりたいものをつくる」ことを関連づけ一体的に扱えるように配慮している点は理解できるが、工作の本来持つデザイン性や機能性といったことの学習目標が明らかでなく、子供の創造性を優先した題材の扱いが際立っている。

下の図2は、造形表現行為の類型と使用が予想される用具・道具である。その材料に適した道具を適切に扱えるようになるということが、子供の創造表現の能力、デザインや創造的な工作の能力を高める技法の獲得につながっていくことのひとつの方策であると考えられる。造形表現行為の類型であるが、同じ「切る」という行為でも、材料により使用する用具・道具が異なっていることを示している。

図2

造形表現行為の類型	用具・道具
切る	はさみ カッターナイフ 小刀 のこぎり 糸のこぎり 押し切り器 カッティングマット 段ボールカッター 電動糸のこぎり ペンチ 発泡スチロールカッター
つなぐ・接合する	ホッチキス タッカー 金づち 釘 ボルト・ナット ねじ ひも 針金 ドライバー くぎ抜き
折る・曲げる	ペンチ やつとこ
はかる	スケール 三角定規 物差 差し金 コンパス けびき
穴をあける	きり ニードル 目打ち ドリル ポンチ パンチ
彫る・へこませる	彫刻刀 へら のみ
刻む・けずる	かんな 小刀
みがく	ヤスリ サンドペーパー ワイヤブラシ 布
描く・塗る・うつす	刷毛 タンポ 筆 ローラー バレン カーボン紙
焼く・熱する	焼成窯 ガスバーナー アクリル曲げヒーター

型に流す・型押し・エンボス	石膏 粘土 木枠 エッチングプレス機
のぼす	粘土板
結ぶ・結う・巻く	
貼る・くっつける	のり 接着剤 接着テープ ホットメルト
掘る	スコップ 移植ごて つるはし
はさむ・抑える	クランプ 万力 クリップ 洗濯バサミ
たたく・打つ	木槌 金づち 釘 たがね 金床 ハンマー
割る	竹割りなた たがね ハンマー

### Ⅲ 子供の造形表現行為における材料の適性および用具のマトリックス

Ⅱ章で子供の造形表現行為を示したが、ここでは、その造形表現行為と材料・用具のマトリックス化を試みる。子供の発達段階を考慮して、材料と用具を活用する14の造形表現行為に類型化した。筆者が過去に実践した制作題材や日文の教科書題材に見られる制作作品の技法をもとに分析・抽出したものである。縦軸に造形表現行為を置き、横軸に材料を配した。そして、交わる箇所に子供の造形表現に適しているか否かを、4段階の記号「◎とても適している ○適している △可能である 『無印』適していない」で表した。

また、材料については、(1)自然材料編、(2)自然加工材料編、(3)金属加工材料編、(4)人工材料編、(5)既製品編の5編に分類した。材料には、粘土・石といった自然材料からプラスチックに代表される現代の科学の産物である人工材料にいたるまで多種多様な材料が存在する。利用可能な材料はできる限り取り上げてみた。以下にマトリックスを示す。

#### (1) 自然材料編

◎とても適している ○適している △可能である 「無印」適していない 各記号の下は、子供の造形表現行為に適した用具									
自然材料 造形表現行為	粘土	竹	貝殻	石	木・流木	枝	つる	木の実	わら
①切る	◎ へら 針金	○ 竹引のこ	△ やすり		◎ のこぎり	◎ のこぎり	○ 小刀 なた		○ はさみ 小刀
②つなぐ	△ 棒 串	○ ひも	○ 糸・ひも		○ 釘 金づち	○ ひも	○ ひも		○
③折る・曲げる	△	△					○		○
④へこませる	◎ 木材・棒				△				
⑤穴をあける	◎ へら	○ きりドリル	○ ドリル	△ ドリル	○ きりドリル	△ きりドリル	△ ニードル	○ きりドリル	

⑥彫る	◎へら	○彫刻刀			◎彫刻刀のみ	○彫刻刀		△彫刻刀	
⑦刻む・ けずる	◎かな な・針	○小刀・ 彫刻刀			◎小刀・彫刻刀	◎小刀・彫刻刀		△小刀・彫刻刀	△小刀
⑧貼る・ くっつける	◎どべ	○接着剤	○接着剤	△ホットメルト	○接着剤	○接着剤	△接着剤	△接着剤	△接着剤
⑨描く・ 塗る・うつす	○絵の具・刷毛	○絵の具・刷毛	○絵の具・筆	○絵の具・刷毛	◎絵の具・刷毛	◎絵の具・刷毛	△絵の具・刷毛	△絵の具・刷毛	△絵の具・刷毛
⑩焼く・ 熱する	◎焼き窯	△バーナー			△バーナー				
⑪型に流す・ 型押し	◎石膏型								
⑫みがく	△サンドペーパー	○やすり	△サンドペーパー	△サンドペーパー	◎やすり	○サンドペーパー			
⑬のばす	◎粘土板								
⑭結ぶ・結 う・巻く	△	○ひごつりの器具					△リースつくり		◎木槌
造形表現行為 自然材料	粘土	竹	貝殻	石	木・流木	枝	つる	木の実	わら

(2) 自然加工材料編

◎とても適している ○適している △可能である 「無印」 適していない  
各記号の下は、子供の造形表現行為に適した用具

自然加工材料 造形表現行為	棒木材	木片	ベニヤ板	竹	紙	段ボール	布	糸・ひも	コルク
①切る	○のこぎり	○のこぎり	◎のこぎり	○竹引きのこ	◎はさみ	◎段ボール カッター	◎はさみ	○はさみ	○はさみ カッターナイフ
②つなぐ	○ひも	○釘 金づち	○釘 金づち		○クリップ ホチキス	○文化鋏 割りピン	◎糸	○手で結ぶ	○虫ピン
③折る・ 曲げる				△熱湯	◎定規	◎定規・へら	◎アイロン		
④へこませ る					△	○木づち			△木づち
⑤穴をあけ る	○きり	○きり・ ドリル	○糸のこ ぎり	○きり・ ドリル	◎パンチ 目打ち	○段ボール カッター	○針		○きり・ ドリル

⑥彫る	△ 彫刻刀	○ 彫刻刀	△ 彫刻刀	△ 彫刻刀	△ 彫刻刀				
⑦刻む・ けずる	○ 小刀	○ 小刀	△ 小刀	○ 小刀	△ 小刀・ ニードル	○ カッター ナイフ			△ 小刀
⑧貼る・ くっつける	○ 接着剤	◎ 接着剤	◎ 接着剤	○ 接着剤	◎ 接着剤	◎ 接着剤	△ 接着剤	△ 接着剤	○ 接着剤
⑨描く・ 塗る・うつす	◎ 絵の具・ 刷毛	◎ 絵の具・ 刷毛	◎ 絵の具・ 刷毛	◎ 絵の具・ 刷毛	◎ 絵の具・ 刷毛	◎ 絵の具・ 刷毛	○ 染色材料	△ 染色材料	○ 絵の具・ 刷毛
⑩焼く・ 熱する		△ 焼き板		△ バーナー					
⑪型に流す・ 型押し					△ エッチング プレス機				△ エッチング プレス機
⑫みがく	○ サンドペーパー	◎ やすり	○ サンドペーパー	○ やすり	△ サンドペーパー	△ サンドペーパー			○ サンドペーパー
⑬のばす									△ (弾力あり)
⑭結ぶ・結 う・巻く					○ 紙ひも		△ ふろしき	◎	
造形表現行為 自然加工材料	棒木材	木片	ベニヤ板	竹	紙	段ボール	布	糸・ひも	コルク

(3) 金属加工材料編

◎とても適している ○適している △可能である 「無印」適していない 各記号の下は、子供の造形表現行為に適した用具									
金属加工 材料 造形表現行為	くぎ	アルミ箔	金属板 銅鉄亜鉛 アルミ	金網	スチール 針金	アルミ 針金	カラー 針金	金属棒	金属管
①切る	○ ペンチ	○ 万能はさみ	◎ 万能はさみ	○ 万能はさみ	◎ ペンチ	◎ ペンチ	◎ ペンチ	○ 金工のこぎり	○ 金工のこぎり
②つなぐ	△ 針金		◎ ボルト・ ナット	○ 針金	△ さらに細 い針金	△ さらに細 い針金	△ さらに細 い針金		
③折る・ 曲げる	○ ペンチ	○ 定規	◎ ペンチ 金づち	○ ペンチ 金づち	◎ ペンチ	◎ ペンチ	◎ ペンチ		
④へこませ る			○ たがね	○ 木づち	△ 金づち	△ 金づち			



⑤穴をあける		○ ニードル	○ ドリル						△ ドリル
⑥彫る			○ 彫りたがね						
⑦刻む・ けずる			○ ポンチ						
⑧貼る・ くっつける	△ 接着剤	△ 接着剤	○ 接着剤		○ ハンダ付け	○ ハンダ付け	○ ハンダ付け	○ ハンダ付け	○ ハンダ付け
⑨描く・ 塗る・うつす	△ マーカー	○ アクリル 絵の具	○ 塗料 刷毛		△ マーカー	△ マーカー		△ マーカー	△ マーカー
⑩焼く・ 熱する	○ 焼きなまし		△ バーナー						
⑪型に流す・ 型押し		△ 凹凸の型	○ たがね						
⑫みがく	○ サンドペーパー		○ グラインダ		○ サンドペーパー	○ サンドペーパー	○ サンドペーパー	○ グラインダ	○ グラインダ
⑬のばす	△ 金づち		○ 芋づち					△ 金づち	
⑭結ぶ・結 う・巻く					◎ ペンチ	◎ ペンチ	◎ ペンチ		
造形表現行為 金属 加工材料	くぎ	アルミ箔	金属板 銅鉄亜鉛 アルミ	金網	スチール 針金	アルミ 針金	カラー 針金	金属棒	金属管

(4) 人工材料編

◎とても適している ○適している △可能である 「無印」適していない  
各記号の下は、子供の造形表現行為に適した用具

人工材料 造形表現行為	プラス チック板	発泡ス チロール	ウレタン フォーム	ポリエ チレン シート	色セロハン	ビーチ グラス	石膏	不織布	アクリル
①切る	○ はさみ	◎ スチロール カッター	○ カッター ナイフ	◎ はさみ	◎ はさみ	△ ガラス 切り	△ カッター ナイフ	◎ はさみ	○ OP カッター
②つなぐ	○ 割りピン	○ 棒材		○ 粘着 テープ	○ 粘着 テープ	△ 糸	△ 針金	◎ 糸	○ ボルト・ ナット
③折る・ 曲げる			○ (弾力あり)	○ (しなやか)	○ (しなやか)			◎ アイロン	○ ヒーター
④へこませ る			○ (弾力あり)				○ へら		

⑤穴をあける	○ 火ばし	○ 火ばし	○ ニードル	○ ニードル	○ ニードル		△ ドリル	○ 針	○ ドリル
⑥彫る						△ ガラス切り	○ 彫刻刀		○ 熱カッター
⑦刻む・ けずる	○ ニードル	○ カッターナイフ	△ カッターナイフ				○ カッターナイフ		
⑧貼る・ くっつける	◎ 接着剤	○ 接着剤	○ 合成ゴム接着剤	○ 接着剤	○ 接着剤	○ 接着剤	△ 接着剤	△ 接着剤	○ 接着剤
⑨描く・ 塗る・うつす	○ マーカー	△ マーカー	△ マーカー	○ マーカー	○ マーカー	○ マーカー	○ 絵の具・刷毛	○ 染色材料	○ アクリルカラー
⑩焼く・ 熱する	○ オーブン					○ 七宝窯			○ ヒーター
⑪型に流す・ 型押し							◎ 粘土型・木型		
⑫みがく		△ サンドペーパー				△ サンドペーパー	○ サンドペーパー		○ サンドペーパー
⑬のばす			○ (のびる)				△ (固形前)		
⑭結ぶ・結 う・巻く			○ (ひも状に すれば可)	○ (やわらかい)	○ (やわらかい)			△ ふろしき	
造形表現行為 人工材料	プラス チック板	発泡ス チロール	ウレタン フォーム	ポリエ チレン シート	色セロハン	ビーチ グラス	石膏	不織布	アクリル

(5) 既製品編

◎とても適している ○適している △可能である 「無印」適していない  
各記号の下は、子供の造形表現行為に適した用具

人工材料 造形表現行為	ビーズ	スズラン テープ	ガラス 類・お はじき	ボタン	ストロー	ホース	モール	紙皿・ 紙容器	プラス チック 容器
①切る		◎ はさみ			◎ はさみ	○ カッターナイフ	○ はさみ	◎ はさみ	○ 万能はさみ
②つなぐ	◎ 糸	○ 輪ゴム		○ 糸	○ 輪ゴム	○ アタッチメント	○ 針金	○ ひも	○ ひも
③折る・ 曲げる		○ (やわらかい)			○ (やわらかい)	○ (やわらかい)	○ (やわらかい)	○ (やわらかい)	
④へこませ る								○ (やわらかい)	○ (やわらかい)
⑤穴をあける					○ ニードル	○ ニードル		○ ニードル	○ ニードル

⑥彫る									
⑦刻む・ けずる						○ 小刀		○ 小刀	○ 小刀
⑧貼る・ くっつける	○ 接着剤		○ 接着剤	○ 接着剤	○ 接着剤			○ 接着剤	○ 接着剤
⑨描く・ 塗る・うつす					○ マーカー	○ マーカー		○ マーカー	○ マーカー
⑩焼く・ 熱する			○ 焼き窯						
⑪型に流す・ 型押し									
⑫みがく									
⑬のぼす									
⑭結ぶ・結 う・巻く		◎				○	◎		
造形表現行為 人工材料	ビーズ	スズラン テープ	ガラス 類・お はじき	ボタン	ストロー	ホース	モール	紙皿・ 紙容器	プラス チック 容器

#### Ⅳ まとめと展開

マトリックス中の用具については、代表的なものを上げた。子供がつくり出そうとする作品イメージに適した材料を選べるようにし、そして、材料を加工する造形表現行為に適した用具を自分で選択できるようにするためのマトリックス利用の方策を述べていく。

まず、指導する教師がこのマトリックスにあるような材料や用具の体験をしていくことが必要である。各材料編に上げた材料の中で不織布などは、筆者がまだ実践では扱ったことがない材料である。未知の材料の研究は、その材料の持つ教材としての可能性を発見することである。子供は、材料を用具でもって加工することを通して体感的に具体的に材料を知ることになる。その材料体験の積み重ねが、図工題材に出会ったときの創造的な技法や技能の習得に役立つ。

次に、このマトリックスを用いて新たな教材を開発することである。体験してほしい子供の造形表現行為からのアプローチが考えられる。例えば、「折る・曲げる」という行為から想像できる材料や用具を選んで制作していくなどの発想を通して、新たな題材を生み出していくことができる。あるいは、教科書題材の造形表現行為だけでなく他の行為を考えさせることで題材に変化を持たせることができるだろう。造形表現行為の分析が、題材の本質を知ること役立つことになる。

そして、材料を自分の作品のイメージに適した方法で加工する用具の選択に利用することである。マトリックスには代表的な用具しか記していないが、材料を加工する方法は一

通りではない。例えば、紙を切るという造形表現行為の時、はさみの切り口の異なるはさみを用意することで、「鋭い感じを出したい」という子供の思いを達成できるということがある。すなわち、加工の方法を複数用意することで、より自分の作品のイメージにあった方法を選択することができるし、より豊かな表現が可能になる。

今回の教育課程の改訂により図画工作科の授業環境は困難さを増している。限られた時間で創作的な技能を伸ばすのは至難の技である。工作は、実際の材料をもとに自分の考えを具体化する。思考力や判断力といった総合的な能力の活用がなされる。そのため、子供が題材に向かったとき、十分思考できる時間を確保してやりたいと考える。

学校週5日制の実施により土曜・日曜の充実した過ごし方を求める声は、強い。子供の学校での図工・造形への興味・関心の高まりを受け止めるものとして、社会的な造形教室の開催が挙げられる。平成15年度、山口県防府市では、地域交流センター・アスプラートにて、児童生徒を対象に造形活動を核にした美術育成事業「夢アート広場」が始まっている。地域と学校が連携した学習の場が創設され、子供たちの大きな関心の中で、造形活動への可能性を示すものとして期待されている。学校のみならず地域・社会においても工作の特徴ともいえる実材を用いた体験的な学習の有用性は、社会の急激な変化の中でますますはつきりとしたものとなり重要視されていくだろう。

## 注

- (1) 福田隆眞、福本謹一、茂木一司『美術科教育の基礎知識』建帛社、昭和60年、P171  
平成10年版学習指導要領の内容構成および年間授業時数の図より引用
- (2) 文部省『小学校学習指導要領解説図画工作編』日本文教出版、1999、p.3

## 参考文献

- ・日本児童美術研究会『図画工作 教師用指導書 上巻』日本文教出版、2002
- ・金子一夫『美術科教育の方法論と歴史』中央公論美術出版、1998
- ・『実践造形教育シリーズ1～10』開隆堂、1982
- ・文部省『小学校図画工作指導資料 材料・用具の扱い方とその指導』ぎょうせい 昭和61年
- ・真鍋一男 宮協理『造形教育事典』平成3年、建帛社
- ・松田 淳『学校美術教育における素材への意識』山口大学大学院教育学研究科修士課程論文、2003
- ・荒木照子『粘土を使った造形遊び』世界文化社
- ・『2003年総合カタログ工作豆事典・図工教材・図工素材』クラフテリオ、2003
- ・『2002年版図工・美術 総合的な学習カタログ』新日本造形、2002
- ・藤澤英昭『小学校新図画工作科の基本用語辞典』明治図書、2002